

地域の将来像:住んでいる人々が誇れる郷 明日の小山田の創造

コミュニティだより H28.1.15 第24号

明日の小山田を考える会の目的は、**住んで良かった・ずっと住み続けたい・住み良い地域を創る**ことです。そのためには、地域の皆さんの積極的な関わりが必要です。

◎日本語の持つ豊かな感性（世界に誇れる日本人の心）



明日の小山田を考える会 会長 菊池 保守

皆さん、あけましておめでとうございます。明日の小山田を考える会の今年度（平成27年度）事業（きぬかわカレッジ・ママカフェ・ドリームチャレンジ・グラウンドゴルフ・運動会等）は、皆様のご協力とご支援によりほぼ終了することができました。改めて皆様に感謝申し上げます。皆様のご支援とご協力、ご参加なくして、住みよい地域づくりは到底できませんので今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、花巻東高校でも講演したこともある、境野勝悟先生の対談記録から私たちが何気なく日常使っている、「いただきます」の意味について考えてみたいと思います。

ご飯を食べるとき、手を合わせて(合わせない人もいるとおもいますが)「いただきます」と言いますよね。それは、野菜や魚、肉などの生命をいただいて自分の命を養うことからこれに感謝するため、手を合わせて、「いただきます」といいます。でも欧米の場合は、食事の前に、神の恵みに感謝する言葉を発してから食べますよね。(キリスト教しか私は知らないけど)つまり、命そのものに感謝するのが日本民族（日本人）だということです。

また、「ありがとう」は、「有ることが難しい」、つまり自分が今ここに命をいただいているのは普通ならあり得ない、という意味だそうで、英語の「サンキュウ」とは違うということです。日本語のもつ奥深さに表わされる日本人の精神性、これが長年私たち祖先から受け継がれたものであり、地域づくりの原点でもあると認識した次第です。

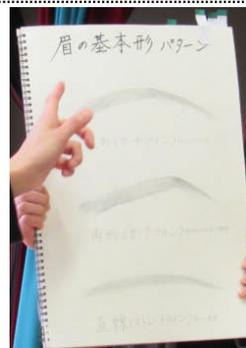
ママカフェ「メイクアップ教室」を開催しました

教育振興部主催、ママカフェrainbow「メイクアップ教室」を12月13日（日）に開催しました。安俵(六本木)在住の鎌田明子さんを講師に迎え、5名の参加がありました。鎌田講師はサロン「アルソア明花」をご自宅で開業し、活動されております。

苦手にしているメイクを聞き出し、一つ一つ丁寧に指導頂き、「眉」は顔のパーツを決める重要な部分。少し太めが流行とのこと。またカラーや道具の使い方など学ぶことができ、参加者は大満足の様子でした。



ポイントメイクを学ぶ



講師の鎌田明子さん

生涯学習講座「きぬかわカレッジ」第4回・第5回講座を開催

教育振興部主催、「きぬかわカレッジ」を11月19日(木)第4回講座(17名)、12月18日(金)第5回講座(総勢55名)を開催しました。

第4回講座は、北川目の浅沼幸雄氏が小山田の郷土芸能「神楽の楽しみ方」について、南川目の小田拓美氏が小山田の先哲についてそれぞれご教示頂きました。また、第5回講座には園児はじめ地域住民が参集し、吉本興業所属「アンダーエイジ」の漫才に終始笑い笑顔であふれていました。どちらの講座も大変講評でした。



受講生のみなさん



講師をして頂いた浅沼幸雄さん(左)、小田拓美さん(右)

第4回講座のようす



アンダーエイジ ライブのようす

第5回講座のようす



平成27年12月末現在

小山田の人口	世帯数	男(人)	女(人)	計(人)	比較(11月末)
第1行政区	63	105	92	197	2人減
第2行政区	148	226	230	456	1人減
第3行政区	161	253	265	518	—
第4行政区	111	193	199	392	1人減
計	483	777	786	1,563	4人減

発行: 明日の小山田を考える会 電話:0198-42-2941

HP: <http://www.asuno-oyamada.jp/> ホームページもご覧下さい。